

現代ではイスラム教徒の女性の装いとして知られるヴェール。実は古代以来、アジアからヨーロッパまで、さまざまな地域の人々のあいだで用いられてきました。ヴェールをまとふ理由も一つではありません。東洋文化研究所では、ヴェールの歴史や広がりを見せるとともに、現代の各地のヴェールの試着体験を行います。

「ヴェール」を通して世界を見よう！

日時：2017年 8月2日（水）、3日（木） 10:00-16:30

会場：東京大学 東洋文化研究所 ロビー



★ 展示 「ヴェールを被ること、脱ぐこと」

人類誕生の黎明期から今日までのヴェールの歴史とその多様な意味について、日本や東アジアの伝統習俗も含めて展示します。

★ 試着体験 「ヴェールの下から何が見える？」

各地で蒐集したヴェールを実際に着てみる事ができます。アフガニスタンの「ブルカ」、サウジアラビアの「アバーヤ」、イランの「チャードル」、インドネシアの「ムクナ」、パレスチナの「トーブ」などがあります。

主催：東京大学東洋文化研究所

科研費「基盤研究A イスラーム・ジェンダー学の構築のための基礎的総合的研究」代表：長沢栄治

共催：国際非政府組織 AISA (Association Internationale Soufie Alawiya)

(スーフィー・アラウィーヤ国際協会)